

十全會雜誌

第三十八卷 第四號 (第三百三十號)

昭和八年四月一日發行

原 蒼

金澤醫科大學法醫學教室

(主任古畑教授)

石川縣河北郡五小學校兒童ノ 血液型調査成績

附 血液型ト氣質トノ關係ニ就テ

講師 醫學士 正 木 信 夫

助手 醫學士 越 後 一 雄

(昭和7年12月3日受附)

目 次

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 一 緒 言 | 意義ニ關スル疑義 |
| 二 血液型調査成績 | 四 血液型ト古川氏ニヨル氣質型トノ關係 |
| 一 血液型ノ分布率ニ就テ | ニ就テ |
| 二 P, Q, rノ値ニ就テ | 五 結 論 |
| 三 古川氏ノ團體性指數又ハ民族性指數ノ | |

1 緒 言

石川縣河北郡ニ於ケル五小學校ヨリ、教育其ノ他ノ參考ノ爲メ兒童ノ血液型ヲ調査シテ欲シトノ依頼ニ接シタノデ、余等兩人ハ昭和7年2月3日、4日ノ兩日各小學校ニ出張シテ兒童ノ血液型ヲ調査シタ。

其ノ際各受持教師ニ托シテ兒童ノ氣質ヲ客觀的ニ觀察シテ其ノ結果ニ基キ血液型ト氣質トノ關係ヲモ調査シタ。

2 血液型調査成績

血液型検査ノ方法ハ酒精綿ニテ清拭シタ兒童ノ耳朶ヨリ血液ヲ枸橼酸ソーダ食鹽水入りノ試験管ニ僅カヅ、採リ、教室ニ持歸ツテ同日中ニ教室貯藏ノ標準血清ニヨツテ検査シタ。

(1). 血液型ノ分布率ニ就テ

石川縣河北郡ニ於ケル五小學校ノ血液型分布状態ハ第1表ニ示シタ通りデアル。

松寺小學校ト勉致小學校トニ於テハ、略々同ジ様ナ血液型ノ分布率ヲ示シ、O型ガ多クテ、A型ガ比較的少ナイ。人種係數ハ松寺小學校ハ1.20、勉致小學校ハ1.22デアツテ略々相等シイ。之ニ反シテ木越小學校、大浦小學校、千木小學校ニ於テハ、A型ガ多クテ、O型ガ比較的少ナイ。殊ニ千木小學校ニ於テハO型ガ非常ニ少ナクテ、A型ガ約半數ヲ占メテキル。木越小學校ニ於テハA型ガ比較的的多イガ、B型モ多イ方デ從ツテ人種係數ハ、1.15トナリ五校中一番小サイ。大浦小學校、千木小學校ノ人種係數ハ夫々1.57、1.78デアツテ五校中デハ最モ大デアル。

第1表 石川縣河北郡小學校ノ血液型分布

検査地	検査總數	O	A	B	AB	人類係數	p	q	r
松寺小學校	134	48 35.82	41 30.60	32 23.88	13 9.70	1.20	2.792	1.223	5.985
木越小學校	97	22 22.68	34 35.05	28 28.87	13 13.40	1.15	2.828	2.410	4.762
大浦小學校	288	88 30.55	110 38.20	59 20.48	31 10.76	1.57	2.810	1.662	5.528
勉致小學校	156	55 35.26	47 30.13	35 22.43	19 12.18	1.22	2.277	1.785	5.938
千木小學校	112	21 18.75	54 48.21	25 22.32	12 10.72	1.78	3.722	1.948	4.330
計	787	234 29.73	286 36.34	179 22.75	88 11.18	1.40	2.716	1.832	5.452
石川縣	17614	5545 31.48	6333 35.96	4029 22.87	1707 9.69	1.40	2.615	1.775	5.610
北陸地方	33200	10190 31.55	11771 36.44	7277 22.53	3062 9.48	1.43	2.637	1.746	5.617

五小學校兒童ノ總計787名ノ血液型ノ分布ハ、O型234名(29.73%)、A型286名(36.34%)、B型179名(22.75%)、AB型88名(11.18%)、人種係數1.40デ之ヲ從來調査セラレテキル石川縣人及ビ北陸地方人ノ血液型分布ニ比較スルニ殆ンド一致シタ成績デアル。

此ノ時同時ニ検査シタ教師ノ血液型ハO型5名、A型4名、B型9名、計18名デアツタ。此ノ成績ハ小學校教師ニハA型ガ特ニ多イト云フ古川氏ノ主張ヲ裏切ルモノデアル。

(2). p, q, rノ値ニ就イテ

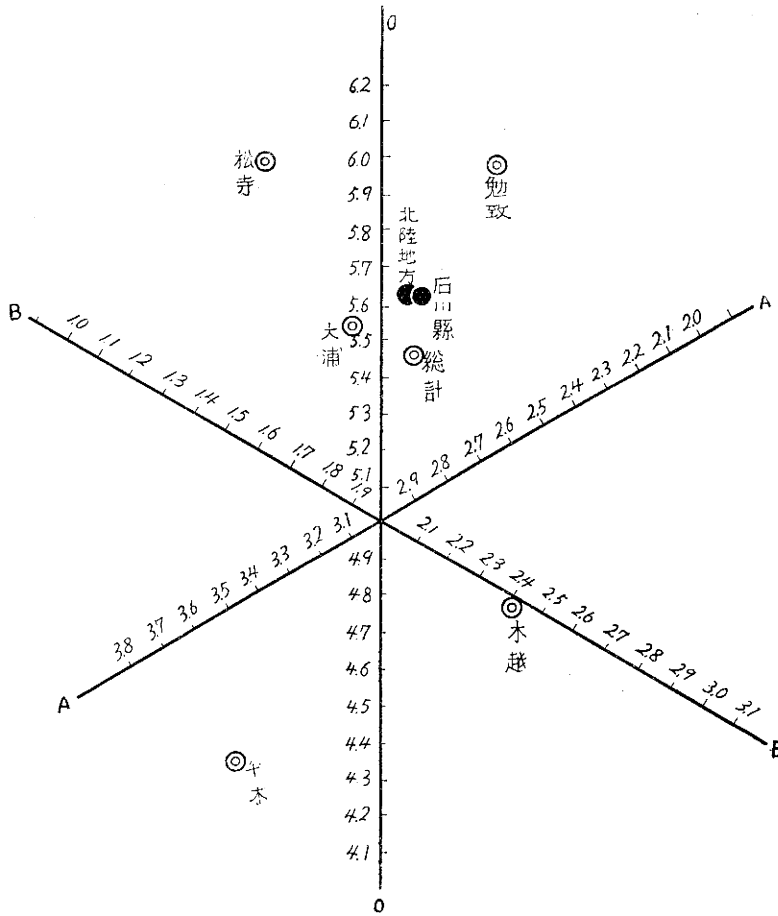
ウェリツシユノ算式ニヨツテ、p, q, rノ値ヲ算出シテ見ルト(第1表)、rノ値ハ千木小學校ガ最小デ、次イデ木越小學校デアルガ、pノ値ハ千木小學校ガ最大デ次イデ木越、大浦小學校デアル。qノ値ハ木越ガ最大デアツテ、次イデ千木小學校デアル。

木越小學校ニ於ケル血液型ノ分布状態ハ他校ニ比シテ、ヤ、興味アル成績デアツテ、O型ガ少ナク、A型、B型ガ比較的的多イ。松寺、木越、大浦各小學校ハ、地理的ニ極メテ接近シタ處ニアツテ、殊ニ木越小學校ハ大浦小學校ニ最モ近く、僅カ十數丁ヲ隔テルノミデアルニ

モ拘ハラズ血液型分布ノ上ニ於テハ非常ナ差異ヲ示シテキル。

之ヲストレンジ氏ノ方法ニ從ヒ人種點又ハ血清學的位置ヲ圖示スルナラバ第1圖ノ如クナリ其ノ關係ガ一層明瞭ニナル。

第 1 圖 血清學的位置



千木小學校ハ前述ノ如ク、rガ小サク、pガ大キク木越小學校ニテハ、p、qガ比較的大キイカラ、總計ノ血清學的位置ヨリ遙カニ離レタ位置ニ位スルノデアル。

之等ノ五小學校ハ地理的ニ同郡内ニアリ皆スベテ隣接ノ地ニアルニモ拘ハラズ、血清學的位置トシテハ、斯ノ如ク其ノ趣ヲ異ニスルコトハ恐ラク見本誤差(Sampling error)ニ基クモノデアルト思ハレル。松寺、勉致、大浦各小學校等極メテ金澤市ニ近接ノ小學校ニ於テハ、石川縣及ビ北陸ノ總計ノ血清學的位置ニ近い結果ヲ示シテキルノデアル。

次ニ之等五小學校兒童總計 787名ニ就イテノ pハ 2.716、qハ 1.832、rハ 5.452 デアツテ、此ノ値ヨリ理論的ニ期待セラルベキ各型ノ出現率ヲ 3 遺傳單位說ニヨリ計算シテ見ルト、

$$p+q+r=10$$

$$(p+q+r)^2=100$$

$$p^2 + 2pr + q^2 + 2qr + 2pq + r^2 = 100$$

$$A = p^2 + 2pr = 2.716^2 + 2(2.716 \times 5.452) = 36.99$$

$$B = q^2 + 2qr = 1.832^2 + 2(1.832 \times 5.452) = 23.33$$

$$AB = 2pq = 2(2.716 \times 1.832) = 9.95$$

$$O = r^2 = 5.452^2 = 29.73$$

之ヲ觀察數ト比較スルニ、O型ニ於テハ、全ク一致スルガ、A型ニ於テハ0.65%、B型ニ於テハ0.58%、AB型ニ於テハ1.23%ノ差ヲ見ル。然シナガラ、之等ノ差ノ平均誤差ヲ計算シテ見レバ、O型 ± 2.07 、A型 ± 2.43 、B型 ± 2.12 、AB型 ± 1.55 デアツテ、觀察數ト計算數トノ間ニハ餘リ差ガナク、之ニヨツテモ三遺傳單位説ノ理論ガ正シイコトヲ知ルノデアル。

第 2 表

	O型	A型	B型	AB型
觀察數	29.73	36.34	22.75	11.18
平均誤差 (m_1)	± 1.63	± 1.71	± 1.49	± 1.12
計算數	29.73	36.99	23.33	9.95
平均誤差 (m_2)	± 1.63	± 1.72	± 1.51	± 1.07
觀察數ト計算數トノ差	0	-0.65	-0.58	+1.23
差ノ平均誤差 $M_{diff} = \sqrt{m_1^2 + m_2^2}$	± 2.07	± 2.43	± 2.12	± 1.55

3 古川氏ノ團體性指數又ハ民族性指數ノ意義ニ關スル疑義

古川竹二氏ハ氣質ト血液型トガ關係アルト云フ假説ノ下ニ次ノ様ナコトヲ言フテキル。

人ノ氣質ノ活動形式ヲ血液型ニヨツテ分ケルトO型トB型トハ積極的進取的デアリ、A型、AB型ハ消極的保守的ナリトシ、 $\frac{O\% + B\%}{A\% + AB\%} = \frac{A}{P}$ ハ其ノ團體ノ氣質ヲ表ハスモノデアルト稱シ之ヲ團體性(活動)指數ト名付ケテキル。又氣質ヲ意志ト感情ノ二方面ヨリ觀察スル時ハ、O型ハ意志型デアリ、A型、B型、AB型ハ共ニ感情型デアツテ $\frac{A\% + B\% + AB\%}{O\%}$ モ亦集團或ハ民族ノ性情ヲ研究スル上ニ大イニ參考ニナルモノデアルト説イテキル。

第 3 表

學校別	$\frac{O+B}{A+AB}$	$\frac{A+B+AB}{O}$	検査人數
	松寺小學校	1.48	
勉致小學校	1.36	1.84	156
木越小學校	1.06	3.41	97
大浦小學校	1.04	2.27	288
千木小學校	0.70	4.33	112
合計	1.10	2.36	787
石川縣一般	1.19	2.18	17614
北陸地方一般	1.18	2.17	32300

而シテ古川氏ハ學校或ハ特種團體乃至國家、民族等ニ就キ其ノ血液型分布ヨリ $\frac{A}{P}$ 或ハ $\frac{A\% + B\% + AB\%}{O\%}$ ヲ計算シ、其等ノ集團ノ本來ノ氣質性狀ガ之等ニヨツテ明快ニ説明シ得ラレルトナシテキル。

翻ツテ本調査ニ就キ五小學校ノ $\frac{A}{P}$ 及ビ $\frac{A+B+AB}{O}$ ヲ計算シテミルナラバ第3表ノ如クデアル。 $\frac{A}{P}$ 最小ハ千木小學校デ0.70、最大ハ松寺小學校デ1.48デアリ約2倍以上デ、其ノ他ハ次イデ勉致小學校1.36デアリ木越小學校、大浦小學校

ハ略々同數デアル。 $\frac{A+B+AB}{O}$ ニ於テハ最大千木小學校、次イデ木越小學校デ最小ハ松寺小學校デアル。

斯ノ如ク團體性指數ニハ非常ナ差異ガアリ古川氏ノ說ニヨレバ之等各小學校ノ間ニハ各々氣質氣風ニ非常ナ差異ガナケレバナラヌコト、ナル。少ナクトモ松寺小學校、勉致小學校ト千木小學校トノ間ニハ誰ガ見テモ知り得ル程ノ氣質ノ相異ガナケレバナラヌ筈デアル。處ガ之等ノ小學校ハ前ニモ述ベタ如ク同郡内ニアリ而モ隣接ノ間ニアツテ、カ、ル大キナ氣質ノ相異ノ認メラレナイコトハ當該學校當局者ノ云ハレテキル處デアル。即チ氣質ヲ殆ンド等ウスル者ノ間ニ於テ古川氏ノ團體性指數又ハ民族性指數ニハ驚クベキ大キナ動搖ノアルコトヲ示シテキル。換言スレバ古川氏ノ團體性指數又ハ民族性指數ハ此ノ場合ニハ全ク意味ヲナサヌモノデアルコトヲ教ヘテキルモノト考ヘラレル。從ツテ $\frac{A}{P}$ ノ相異ニヨツテ早計ニ其ノ團體性氣質ヲ云々スルコトハ意外ノ誤リニ陥ル恐レガアルコトヲ注意シナケレバナラヌ。

4 血液型ト古川氏ニヨル氣質型トノ關係ニ就テ

古川竹二氏ニヨツテ、血液型ト氣質トノ關係ニ關スル假說ガ提唱セラレテ以來多クノ人々ニヨツテ色々ト追試セラレ、幾多ノ興味深キ業績ガ發表セラレツ、アルノデアル。余等モ亦今回小學校兒童ノ血液型檢査ニ際シ、次ノ如キ古川氏ニヨル血液型ト氣質トノ關係調査表ヲ作り、各受持ノ先生ニ托シテ、血液型檢査ノ結果ヲ報告スル前ニ、各兒童ニ就イテ、日頃ノ

血液型		原籍	第 學 年 組		
氣質型		現住所	姓 名	年 月	
		年 齡	年	月	
下ノ各組ヲヨク讀ンテ4組ノ内1番當ツテキルト思フ組ニ◎ヲツケテ下サイ。其ノ次ニ當ツテキルト思フ組ニ○ヲツケテ下サイ。若シソノ他ニモ特ニ當ツテキル事項ガアツタラソレダケニ○ヲツケテ下サイ。					
O 型	()	シツカリシタ子 キカヌ氣ノ子 勝氣ナ子 他人ニアマリ支配サレナイ子 仲間ヲ支配シタガル子 大膽ナ子 自分ヲナカナカマゲナイ子	A 型	()	優シイ子 オトナシイ子 内氣ナ心配性ノ子 恥シガリノ子 人ノ言フコトヲヨクキク子 叱ラレルト消氣テシマフ子 人ニタヨリタガル子
	()	敏感ナ子 アツサリシタ子 恥シガリテナイ子 物事ニ動カサレ易イ子 ヨク人ト交ル子 世話ズキノ子 ダマツテ居ラレナイ子		AB 型	()

観察及ビ尙一度ヨリヨク観察ヲシテ適當ノ個所ニ其ノ結果ヲ記入シ豫想血液型ヲ決定シテ提出ヲ乞ヒ、ソレニヨツテ余等ノ調査シタ血液型トノ間ニ關係が見出シ得ルカ否カニ就イテ調査スルコト、シタ。

第4表 松寺小學校

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	11 22.92	24	10	3	48
A	9	19 48.72	9	2	39
B	12	10	6 18.75	4	32
AB	3	4	3	2 16.67	12

豫想型	O	A	B	AB	計
一致	11 31.43	19 33.33	6 21.43	2 18.18	38 29.01
不一致	24 69.57	38 66.67	22 78.57	9 81.82	93 70.99
計	35	57	28	11	131

第5表 大浦小學校

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	32 36.36	25	21	10	38
A	29	38 35.19	27	14	108
B	20	23	9 15.52	6	58
AB	6	9	11	2 7.14	28

豫想型	O	A	B	AB	計
一致	32 36.78	38 40.00	9 13.24	2 6.25	81 28.72
不一致	55 63.22	57 60.00	59 86.76	30 93.75	201 71.28
計	87	95	68	32	282

(1). 松寺小學校

松寺小學校血液型検査人員134名中氣質調査表記入ノナカツタモノガA型ニ2名、AB型ニ1名アツテ之等ヲ除イテ131名ニ就キ氣質表ヨリ推定シタ豫想氣質型ト實際ノ血液型トガ如何ナル程度ニ一致スルカヲ見ルニ、第4表ニ示スガ如キ成績デアツテ、O型48名中O型ト豫想サレタモノ11名(22.92%)、A型デアツテ、A型ト豫想サレタモノハ39名中19名(48.72%)、B型デアツテ、B型ト豫想サレタモノハ32名中僅カ6名(18.75%)、AB型デアツテ、AB型ト豫想サレタモノハ12名中僅カ2名(16.67%)デアツタ。即チA型が最モ一致率ガヨクテ48.72%ニ過ギズ、各型共ニ意外ニ血液型ト氣質ヨリノ豫想型トノ一致率ガ低クアツタ。又豫想型ガ實際ノ血液型トノ一致率ヲ出セバA型ト豫想サレタモノニ於テ最モ成績ガヨク、33.33%ニ過ギズ、總計ニ於テ平均ノ一致率ハ29.01%ノ一致率デアル。

(2). 大浦小學校

A型ニ於テ2名、B型ニ1名、AB型3名ノ記入ナキモノアツテ、之ヲ除キ、282名ノ血液型ガ豫想型トノ一致率ヲ見ルニ、第5表ニ示ス如クデアツテ、前松寺小學校ニ於ケル成績ト殆ンド一致シタ成績デアルガ、O型ニ36.36%、A型ニ35.19%一致

シ B 型, AB 型ニ於テハ極メテ一致率ガ悪カッタ。豫想型ノ血液型トノ一致率ハ A 型ト豫想サレタモノノ一致率ガ 40% デ最モヨク, 總計デハ 28.72% ガ豫想型ト實際ノ血液型トガ一致シタニ過ギナイ。

(3). 千木小學校

O 型, A 型 = 1 名ヅ、記入ナキモノアツテ, 110 名ニ就イテ調査シタ。O 型デアツテ, O 型ト豫想サレタモノハ 20 名中僅カ 3 名デアツテ過半数ハ A 型ト豫想サレテキル。A 型ハ 53 名中 22 名 A 型ト豫想サレテキル。B 型ニテハ, 25 名中 3 名デ, AB 型ニテハ 12 名中 AB 型ト豫想サレタモノハ 1 名モナカッタ。

豫想型ノ血液型トノ一致率ハ 25.45% デアル。

然ルニ其後, 血液型ヲ通知シタ後, 再ビ血液型ト氣質トノ關係表ヲ示シテ兒童ノ血液型ニヨル氣質ノ分類ノ再考ヲ願ヒ, 其ノ結果得タ成績ガ第 7 表デアル。之ニヨレバ先キニハ 15% ヨリ一致シナカッタ O 型ノモノガ 80% ノ一致ヲ見, ドウシテモ O 型ト思ハレナイト云フ者ガ 20% アツタ。A 型ニテハ 69.81% マデー一致シ, B 型ニテハ 48%, AB 型ニテハ 75% マデー一致スルコトニナツタ。

總計ニテ氣質ヨリノ豫想型ト血液型トノ一致率ハ 67.27% デアツテ, 不一致ガ 32.73% トナリ, 此ノ成績ハ前回ノ成績ニ比シテ殆ンド全ク反對ノ結果トナツテキルノデアル。

血液型ヲ知ラナイ前ニ調査シタ成績ト血液型ヲ知ツテカラ氣質ヲ調査シタ成績ト何故ニ斯ノ如ク正反對ノ結果ヲ招來シタノデアラウカ。

第 6 表 千木小學校

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	3 15.00	10	4	3	20
A	15	22 41.51	12	4	53
B	7	14	3 12.00	1	25
AB	4	5	3	0 0	12

豫 想 型	O	A	B	AB	計
一 致	3 10.34	22 43.14	3 13.64	0 0	28 25.46
不 一 致	26 89.66	29 56.86	19 86.36	8 100.00	82 75.44
計	29	51	22	8	110

第 7 表 千木小學校再調査後

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	16 80.00	2	1	1	20
A	7	37 69.81	7	2	53
B	2	10	12 48.00	1	25
AB	1	2	0	9 75.00	12

豫 想 型	O	A	B	AB	計
一 致	16 61.54	37 72.55	12 60.00	9 69.23	74 67.27
不 一 致	10 38.46	14 27.45	8 40.00	4 30.77	36 32.78
計	26	51	20	13	110

今其ノ理由ニ就イテ考ヘテ見ルナラバ、今回ハアル血液型ノ人が其ノ氣質型ト合ツテルカドウカト云フコトヲ調ベタノデアルカラ、其ノ答ヘハ〔的中シテキル〕カ〔の中シテオラス〕カ、二ツノ中何レカーツニ限ル。即チ其ノ確率ハ〔50%±平均誤差〕トナルコトニナツテ、50%丈テハ偶然ニ一致スル筈ノ%デアル。加之此ノ外ニ平均誤差ヲ考ヘネバナラス。第二ノ理由トシテ心理的影響ヲ舉ゲネバナラナイ。而シテ此ノ心理的影響ガ可成リ作用シテ其ノ結果ヲ左右シテ居ル様ニ思ハレルノデアル。

(4). 勉致小學校

勉致小學校 156 名ノ氣質ト血液型トノ關係ヲ見ルニ血液型 O 型デアツテ O 型ト豫想サレタモノ 55 名中僅カ 2 名(3.64%)、A 型デ A 型ト豫想サレタモノ 47 名中 20 名(42.55%)、B 型デ B 型ト豫想サレタモノ 35 名中 13 名(37.14%)、AB 型デ AB 型ト豫想サレタモノ 19 名中 4 名(21.05%)ニ過ギナイ。豫想型ガ血液型ト一致シタ率モ皆極メテ低ク、A 型ト豫想サレタモノガ 29.41% 一致シタノガ最高率デアツテ他ハ皆少ナク、總計ニテ 25.64% 豫想型ト實際ノ血液型ト一致シタニ過ギナイ。

第 8 表 勉致小學校

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	2 3.64	28	19	6	55
A	4	20 42.55	20	3	47
B	4	13	13 37.14	5	35
AB	1	7	7	4 21.05	19

豫想型	O	A	B	AB	計
一致	2 18.18	20 29.41	13 22.03	4 22.22	39 25.64
不一致	9 81.82	48 70.59	46 77.97	14 77.78	117 74.36
計	11	68	59	18	156

(5). 總括的考察

以上四小學校ニ於ケル血液型ト氣質調査成績トヲ總括的ニ考察スルナラバ、總計 679 名ノ血液型ト氣質ヨリノ豫想型トノ一致率ハ第 9 表ニ示ス如クデアツテ、血液型 O 型ニ於テハ 22.75% 一致シ、A 型ニテハ 40.08%、B 型ニテハ 20.67%、AB 型ニテハ 11.27% 一致シタコトニナツテキル。而シテ各型ヲ通ジテ注目セラル、コトハ A 型ト豫想サレタモノガ最も多クテ、40% 内外ヲ占メテキルガ他ハ皆非常ニ一致率が低イコトデアル。

豫想型ガ血液型ト一致シタ率モ A 型ト豫想サレタモノ、一致率が最も多クテ、36.53%、次イデ O 型、B 型、AB 型ト云フ順デアル。

全體ニテ、氣質ヨリノ豫想型ト實際ノ血液型ト一致シタ平均ノ一致率ハ 27.39%ニ過ギズ、72.61%ハ不一致デアル。

之ヲ男女ニ分ケテ觀察シテ見テモ(第 10 表)大體ニ於テ一致シタ成績デアツテ特別ノ差異ヲ見出サナイ。女子ニ於テハ O 型ノ一致率が男子ヨリヤ、少ナイ様デアツタ。

又次ニ、各學年ニ分チテ觀察スルニ第 11 表ニ示ス如ク、30% 内外乃至 40% 内外ノ一致率デアツテ、最高ハ 3 年生ニ於ケル 45%ノ一致デアツタ。

第9表 679名ニ於ケル血液型ト氣質ノ關係

豫想型 血液型	O	A	B	AB	計
O	48 22.75	87 41.23	54 25.59	22 10.43	211 100.00
A	57 23.08	99 40.08	68 27.53	23 9.31	247 105.00
B	43 28.67	60 40.00	31 20.67	16 10.66	150 100.00
AB	14 19.72	25 35.21	24 33.80	8 11.27	71 100.00

豫想型	O	A	B	AB	計
一致	48 29.63	99 36.53	31 17.51	8 11.59	186 27.39
不一致	114 70.37	172 63.47	146 82.49	61 88.41	493 72.61
計	162	271	177	69	679

第10表

	豫想型	O	A	B	AB	計
男子	一致	30 31.91	46 35.38	14 16.28	5 12.50	95 27.14
	不一致	64 68.09	84 64.62	72 83.72	35 87.50	255 72.86
	計	94	130	86	40	350
女子	一致	18 26.47	53 37.59	17 18.68	3 10.34	91 27.66
	不一致	50 73.53	88 62.41	74 81.32	26 89.66	238 72.34
	計	68	141	91	29	329

第11表

學年別	一致	不一致	計
1年	30 30.61	68 69.39	98
2年	40 38.83	63 61.17	103
3年	45 45.00	55 55.00	100
4年	40 33.06	81 66.94	121
5年	32 31.68	69 68.32	101
6年	29 25.44	85 74.56	114
高1	9 42.86	12 57.14	21
高2	6 28.57	15 71.43	21
計	231 34.02	448 65.98	679

再調査行フト俄然トシテ、一致率が多クナリ、其ノ成績ハ血液型未知ノ時行ツタ成績ト全ク反對ノ結果トナリ、70%内外ノ一致トナルガ(其ノ理由ニ就イテハ前述シタ)尙ソレデモドウシテモ一致シナイノガ30%内外アツタ。

上述ノ如ク、余等ノ調査ニ於テハ氣質型ト血液型トノ一致率ハ常ニ30%内外デアツタ。思フニ此ノ事ハアルーツノ事柄ヲ四ツニ分ケテ其ノ當否率ヲトル時ニアラハレル偶然一致率ノ範圍内ニ入り得ル數デアルト見做スコトガ出來ル。從ツテ此ノ成績カラハ氣質ト血液型トハ關係ガナイコトヲ暗示シテキルモノデアルト思ハレルノデアル。

1年ヨリモ、2年、3年ト一致率ノヨイコトハ、偶然ノ結果カモ知レナイガ、或ハ各受持教師ノ兒童ヲ觀察スルコト長キニ亘ル程其ノ氣質觀察ノ正シイコトヲ意味スルモノデアルカモシレナイ。

以上、血液型ト氣質豫想型トノ一致率、又ハ氣質豫想型ト血液型トノ一致率ヲ各校ニ就キ、或ハ全體ニ就キ、男女ニ就キ、又ハ各學年ニ分チテ觀察スルニ、其ノ結果ハ殆ンド常ニ一致シタ成績デアツテ、一致率ハ30%内外ニ過ギズ不一致ノモノガ70%デアル。然シ千木小學校ニ於ケル成績ノ如ク、血液型ヲ知ラシテ、再ビ氣質ト血液型トノ關係表ヲ示シテ

翻ツテ血液型ト氣質トニ關スル文獻ヲ通覽スルニ、長崎醫科大學法醫學教室ニ於テハ、西、寺尾、山本ノ3氏ハ小學校兒童729名ニ就キ調査シ、一致セザルモノガ意外ニ多イコトヲ觀察シ、血液型ト古川氏ノ氣質型ト一致シナイモノハ可成リ澤山アリ、殊ニO型、A型、及ビB型ハ不一致ノモノガ多カッタト述ベラレテキル。西弘二氏モ沖繩ノ小學校、中學校、女學校ニ於テ、血液型ト氣質トノ關係ヲ調査シタガ、其ノ一致率ハ25%内外デアツテ、一致セヌ方ガ甚ダ多カッタ。殊ニO型、B型ニ於テ特ニ甚シイトシ、血液型ト古川氏ノ氣質型トノ關係ハ一致スル點モアルガ、尙一層研究補足ノ餘地ガアルト述ベラレテキル。其ノ後山本千住氏、栗下靜雄氏、中尾勝氏等及ビ石丸鎮雄氏モ小學校兒童ニ就キ同様に調査ヲセラレ殆ンド同様に成績ヲ得ラレテキルノデアル。尙又最近、田上中次、田中研一、武田義昌3氏ハ血液型ニヨル氣質ノ觀察ニ對シテ植物神經緊張型ヲ調査スルコトヲ提唱セラレ、之ヲ結合サセテ觀察スル時ハ、從來觀察シ得ナカッタ點モ察知シ得テ、甚ダ便利デ人間ノ氣質ヲ觀察スルニ際シテハ血液型ト共ニ重要ナ役割ヲ演ズルモノナルコトヲ信ズルト記載セラレテキル。

又太田外正氏ハ41人ノ小學生ニ就キ調査セラレ、39.02%ノ一致率ヲ見、岩波浩氏ハ海軍兵學校生徒510名ニ就キ古川氏氣質表ヲ用ヒテ自省ニヨツテ氣質型ヲ定メ之ト血液型トノ關係ヲ調査セラレタ結果、41.1%ノ一致率ヲ得、血液型ト氣質トノ關係ニハ多大ノ疑義ガアル如クニ考ヘラレルト報告シテキル。松本俊四郎氏ハ鐵道職員ニ就イテ調査セラレタノデアルガ、其ノ結果A型ト豫想セラレタモノニハ70%ノ一致ヲ見タガ、他ハ皆非常ニ一致率が低ク、全體デハ平均35%ノ一致率ヲ得、氣質型ト血液型トノ一致率ノ非常ニ少ナイコトヲ報告シテキル。

然ルニ一方古川氏ノ氣質分類法ガ血液型ト比較のヨク一致スルト云フ報告モ可成リアルノデアツテ、井上棟樹氏ハ四小學校兒童678名ニ就キ調査セラレタ結果、平均ニ於テ一致シタモノ74.7%デアツテ、例外25.3%デアルト云フ成績ヲ出シ、相當ニ例外者ガ多イト述ベラレテキル。岩田三史、寺田良子ノ兩氏ハ100人ノ家族、親戚及ビ知友ニ就イテ調査セラレタノデアルガ、其ノ結果、74%ノ一致ヲ見、古川氏ノ所謂血液型ト氣質トノ關係ハ甚ダ信賴シ得ル業績デアルト述ベテキル。樺下町謙吉、濱田健吾ノ兩氏ハ熊本地方ノアル工場ニ於テ、612名ノ血液型ト氣質トノ關係ヲ調査セラレ、自覺のニ自省セシムルモノデハ一致率低イガ、自覺及ビ他覺のニ氣質ヲ分類セシムル時ハ、各型共70%内外ノ一致ヲ認メ明カニハ分割スルコトハ不可能ナレドモ大體ニ於テ、兩者ノ間ニハ多少ノ因果關係ハ存スルコトヲ窺知シ得ト言ハレテキル。田中秀雄氏ハ教室員17名ニ就キ自覺及ビ他覺ノ兩方面ヨリ精細ニ研究セラレタ結果、76.5%ノ一致率ヲ得ラレタガ、同氏ハ其ノ調査ガ少ナイ爲メ斷定的ノ結論ハ差控ヘラレテキル。

尙又名古屋ノ兒童研究所長石川七五三二氏及ビ久保良英氏、淡路圓四郎氏等モ熱心ナル氣質ト血液型トノ研究者デアツテ、氏等ハ獨自ノ立場ヨリ研究ヲ進メラレ、古川氏說ニ對シテハ多大ノ疑義ヲ抱イテ居ラル、様デアル。又樋口榮氏ハ古川氏ノ氣質ト血液型トノ關係ニ關スル假說ヲ實驗的ニ研究セラレ、多數ノ小學校兒童及ビ其ノ他ノ少年ニ就イテ調査セラレタ

結果、内省ノ結果ト教師ノ考査及ビ教師、父兄等ノ考査ノ成績トヲ比較スル時其ノ間ニ可成リノ異數ヲ認メルモノデアルト報告シテキル。

以上ハ今日マデニ文獻上ニアラハレタ主ナル報告デアルガ、之等ヲ觀ルニ、小學校兒童ニ就イテ行ハレタ結果ハ余等ノ成績ト同様何レモ一致シナイモノガ非常ニ多イ様デアル。古川氏ハ小學校兒童ニ於ケル一致率ノ少ナイコトハ小學校兒童ハ氣質ガハツキリシナクテ觀察ガ十分出來ナイ爲メデアルト辯ゼラレテキルガ、成人ニ於テハ其ノ本來ノ氣質ヲアリノマ、出シテキル人ハ少ナイニ反シ、小兒ハ其ノ生來ノ氣質ノマ、ニ何等ノ人工的ノ變化ヲ加ヘズシテ表現シテキルモノトモ考ヘラレ、古川氏ガ氣質研究ニハ小學生ハ不適當ナリト言ハレタルモ余等ハムシロ氣質ノ研究ニハ小兒時代ガ適當スルモノニ非ザルカト考ヘルガ、諸家ノ意見ハドウデアラウ。

氣質ト血液型トノ一致率ヲ考ヘルニ當リ、必要ナルコトハ、出來ル丈ケ心理的影響ヲ除外スルコト、偶然一致率ヲ考慮スルコトデアル。諸家ノ成績ヲ見テモ血液型ト氣質トガ關係アルト云フ先入感ヲ少シモ持ツ事ナク、公平ナ立場ニ立ツテ調査セラレタト思ハレル成績ハ概シテ氣質型ト血液型トノ一致率が非常ニ低イノデアル。

5 結 論

1. 余等ハ石川縣河北郡ニ於ケル五小學校兒童787名ノ血液型ヲ調査シ、併セテ血液型ト氣質トノ關係ヲ調査シタ。

2. 總計787名ノ血液型ノ分布ハO型234名(29.73%)、A型286名(36.34%)、B型179名(22.75%)、AB型88名(11.18%)、人種係數1.40、 p 2.716、 q 1.832、 r 5.452デアツテ從來調査セラレタ石川縣人總計及ビ北陸地方人總計ノ血液型分布状態ト全ク一致シタ成績デアル。

3. 此ノ調査中小學校教師ノ血液型ヲ檢査シタガ、O型5名、A型4名、B型9名、計18名デアツテ小學校教師ニハA型ガ多イト云フ古川氏ノ主張ニ一致シナイ成績デアツタ。

4. 血液型ノ分布率ハ3遺傳單位說ノ理論ト全ク一致スル。

5. 各小學校ハ何レモ近接ノ地域内ニアリ、其ノ氣質ハ殆ンド同様デアツテ著明ナ差異ヲ認メナイニ拘ハラズ古川氏ノ團體性指數ハ非常ニ相違シテキル。從ツテ此ノ成績ニヨレバ古川氏ノ之等ノ指數ノ意義ニ就イテハ大イニ疑義ヲ抱クモノデアリ、同氏ノ主張スル如ク之ニヨツテ團體又ハ民族ノ氣質ヲ推論スルコトハ妥當デナイト考ヘラレル。

6. 血液型ト氣質トノ關係ニ就イテハ、各受持教師ノ他覺的觀察ノ結果ニヨル氣質型トノ關係ヲ調査シタノデアルガ、其ノ平均一致率ハ各校共ニ30%内外デアツタ。

此ノ一致率ハ大體偶然一致率(25%±平均誤差)ノ範圍内ニアルモノデアル。從ツテ此ノ成績ニヨレバ、古川氏ノ氣質ト血液型トノ間ニ關係ガアルト云フ說ニハ俄カニ賛同スルコトガ出來ナイ。

7. 氣質ノ判定ハ心理的作用ニヨツテ大イニ動搖スルモノデアルカラ其ノ判定ニハ特ニ細心ノ注意ヲ要スルモノト思ハレル。

終リニ本調査ニ對シ多大ノ御便宜ヲ計ヒ下サレシ各小學校長初メ上森仁哉氏ソノ他諸先生、並ニ本大學山本義雄氏ノ御厚情ニ對シ深く感謝致シマス。

主要文獻

- 1) 正木信夫, 越後一雄, 石川縣下小學校兒童ノ血液型調査報告(第1報). 十全會雜誌, 第37卷, 第4號抄録, 昭和7年4月.
- 2) 淺田一, 血液型ト氣質關係研究者ノ爲ニ. 犯罪學雜誌, 第4卷, 第1號, 昭和6年1月.
- 3) 同人, 團體ノ血液型. 優生學, 第8卷, 第2號, 昭和6年2月.
- 4) 古川竹二, 氣質ノ血液型ニヨル研究. 社會醫學雜誌, 第504號, 昭和4年1月.
- 5) 同人, 氣質調査上ノ經驗ニ. 三. 犯罪學雜誌, 第4卷, 第1號, 昭和6年1月.
- 6) 同人, 血液型ニヨル團體的氣質ノ研究. 生理學研究, 第6卷, 11號, 昭和4年11月.
- 7) 西弘二, 寺尾敏行, 山本千住, 某々小學校兒童ノ血液型(血液型カラ見タル氣質學科成績ニ就テ). 長崎醫科大學法醫學教室業報, 第2卷, 第2號, 昭和5年.
- 8) 西弘二, 沖繩縣人ノ血液型及血液型カラ見タル性質學業成績並ニ那覇首里兩市在住内地人ノ血液型. 長崎醫科大學法醫學教室業報, 第3卷, 昭和6年.
- 9) 山本千住, 栗下靜雄, 中尾勝, 小學兒童ノ血液型調査補遺. 長崎醫科大學法醫學教室業報, 第3卷, 第2號, 昭和6年.
- 10) 石丸鎮雄, 血液型ヨリ見タル學校生徒兒童ノ氣質並ニ學科成績ノ調査補遺. 長崎醫科大學法醫學教室業報, 第3卷, 第2號, 昭和6年.
- 11) 田上中次, 田中研一, 武田義昌, 山口縣立豊浦中學校生徒ニ就イテ行ヒタル植物神經緊張型及血液型ノ檢查成績並ニ之ト氣質及學業成績トノ關係ニ就イテ. 長崎醫科大學法醫學教室業報, 第4卷, 第1號, 昭和7年8月.
- 12) 井上棟樹, 血液型ヨリ見タル熊本南部地方小學兒童ノ氣質及學業成績ニ就イテ. 熊本醫學會雜誌, 第7卷, 第4號, 昭和6年4月.
- 13) 岩田三史, 寺島良子, 血液型ト氣質ニ就イテ. 東京醫事新誌, 第2738號, 昭和6年8月.
- 14) 櫛下町謙吉, 濱田健吾, 熊本縣民ノ血液型並ニ血液型ト氣質及ビニ, 三職業トノ關係. 熊本醫學會雜誌, 第8卷, 第13號, 昭和7年1月.
- 15) 田中秀雄, 血液型ト氣質トノ關係ニ就イテノ小實驗. 心理學研究, 第7卷, 第1號, 昭和7年2月.
- 16) 宇田川祐三, 海軍兵ト血液型. 血液型研究, 第5號, 昭和7年2月.
- 17) 樋口榮, 古川氏ノ血液型ト氣質ノ關係ニ關スル實驗的批判. 京都醫學雜誌, 第28卷, 第9, 11號, 昭和6年.
- 18) 石川七五三二, 血液型ニ基ク個性型ノ研究(1). 愛知兒童研究所, 第6輯.
- 19) 久保良英, 自己判斷ニヨル性格ト血液型トノ關係. 兒童研究所紀要, 第14卷, 昭和7年1月.
- 20) 松本俊四郎, 血液型ニ關スル一, 二ノ觀察. 日本鐵道醫協會雜誌, 第17卷, 第5號, 昭和6年5月.
- 21) 岩波浩, 海軍兵學校生徒ノ血液型ト諸觀察. 犯罪學雜誌, 第5卷, 第4號, 昭和7年3月.
- 22) 大田外正, 學校教育上ヨリ觀タル血液型研究報告(第2回). 犯罪學雜誌, 第5卷, 第4號, 昭和7年3月.
- 23) 淡路圓治郎, 血液型ト氣質ノ問題. 關東應用心理學大會演說, 昭和7年6月5日.